

# 戸田市郷土博物館ビジョンの 進捗状況について

戸田市教育委員会事務局  
生涯学習課



戸田市立郷土博物館のシンボルマーク  
「ミミズクマーク」



彩湖自然学習センター（みどりパル）  
キャラクター「カマリン」  
（ミュージアムキャラクターアワード2022 全国第6位）

# 令和6年度に行った 主な取組について

- 1 企画展の開催
- 2 デジタルミュージアムの取組
- 3 近隣学校連携展示の開催
- 4 水辺環境エコツアー（彩湖周辺の自然観察とカヌー体験）
- 5 市内公共施設との連携
- 6 上戸田分館とのコラボ展示
- 7 3年生センター授業の通常再開
- 8 サイエンスサポートプログラムの充実
- 9 新曽中学校生物育成研究部との共同展示

# 1 企画展の開催（1/2）

郷土博物館開館40周年記念の冠事業として、企画展「戸田の昔ばなし原画展－池原昭治原画の世界－ 昭治原画の世界－」を開催。童絵作家・池原昭治氏による『戸田のむかしばなし』の原画を中心に展示し、郷土戸田に伝わる昔話や伝説などの世界を紹介した。

- ・ 展示名称：戸田の昔ばなし原画展－池原昭治原画の世界－
- ・ 開催期間：令和6年8月1日（木）～9月1日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 特別展示室・ロビー  
1階 ロビー（導入展示）
- ・ 来場者数：1,133人

## 【関連事業】

### ○戸田の昔ばなしとわらべうたを楽しむ会

日時：①令和6年8月4日（日）11:00～12:00  
②令和6年8月25日（日）14:00～15:00

出演：図書館おはなしボランティア

参加者数：①29人、②28人

### ○戸田の昔ばなしのぬり絵であそぼう！

日時：令和6年8月17日（土）14:00～16:00

参加人数：14人

## 展示と関連事業の様子



# 1 企画展の開催 (2/2)

郷土博物館開館40周年記念の冠事業として、企画展「新収蔵品展～ようこそ戸田の宝物たち～」を開催。近年新たに収集した資料（新収蔵品）の展示を通して、戸田のまちや人々の暮らしの様子を紹介するとともに、博物館が行う資料収集活動についても紹介を行った。

- ・ 展示名称：新収蔵品展～ようこそ戸田の宝物たち～
- ・ 開催期間：令和6年10月5日（土）～11月17日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 特別展示室  
1階 ロビー（導入展示）
- ・ 来場者数：1,871人

## 【関連事業】

### ○新収蔵品展展示解説

- 日時：①令和6年11月2日（土）11:00～11:30  
②令和6年11月2日（土）15:00～15:30

参加者数：①2人、②2人



展示と関連事業の様子

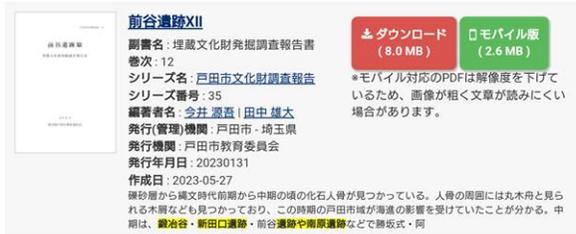
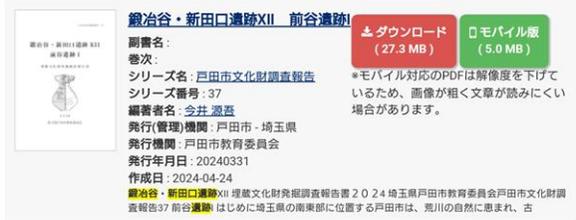


## 2 デジタルミュージアムの取組

デジタルミュージアムの取組の一環として、文化財紹介動画の公開や埋蔵文化財調査報告書のデジタル化と公開を行った。

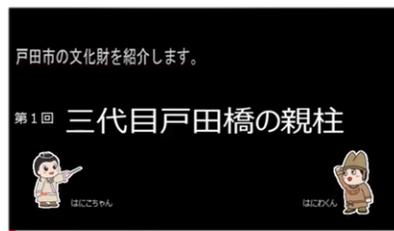
### 埋蔵文化財調査報告書のデジタル化と公開

戸田市が刊行した埋蔵文化財発掘調査報告書についてデジタル化を実施し、インターネットサイト「全国遺跡報告総覧」での公開を行った。



### 市指定文化財の紹介動画の作成・公開

市指定文化財「三代目戸田橋の親柱」の紹介動画を作成し、市公式動画チャンネルにおいて公開を行った。



概要

戸田市指定文化財「三代目戸田橋の親柱」を紹介します！

4 130 12月9日  
高評価数 視聴回数 2024年

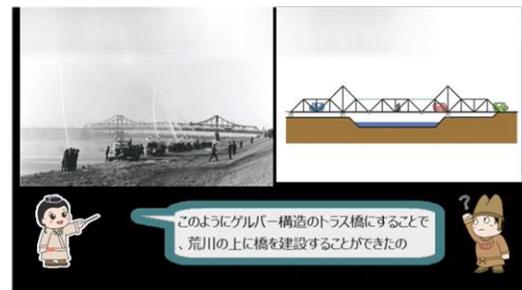
戸田市指定文化財「三代目戸田橋の親柱」（戸田川岸3-7「戸田橋親水公園」内）の紹介動画です。BGM：実りの季節、学び舎の風景、Hope\_Springs\_Eternal

文字起こし

文字起こしを使って説明する

文字起こしを表示

todacityTV  
チャンネル登録者数 2870人



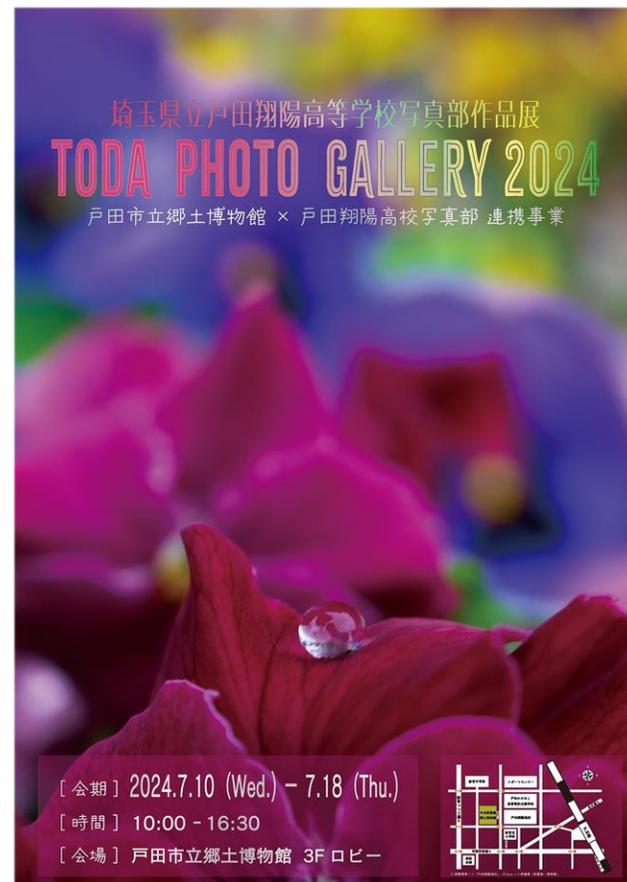
動画  
QRコード

### 3 近隣学校連携展示の開催（1/2）

埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部と郷土博物館の連携事業として、同写真部の作品を展示する写真展を開催し、来館者がアート作品に身近に触れられる機会を提供する「アートミュージアム」機能の展開を図った。

- ・ 展示名称：戸田翔陽高校写真部×郷土博物館連携企画展  
TODA PHOTO GALLERY 2024
- ・ 展示協力：埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部
- ・ 開催期間：令和6年7月10日（水）～7月18日（木）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 ロビー
- ・ 来場者数：278人

#### 展示の様子



### 3 近隣学校連携展示の開催（2/2）

埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校の生徒が高1美術で制作した石膏の『りんご』作品によるコラボ展示を開催し、来館者がアート作品に身近に触れられる機会を提供する「アートミュージアム」機能の展開を図った。

- ・ 展示名称：開館40周年記念コラボ展示  
～郷土博物館×戸田かけはし1年～
- ・ 開催期間：令和6年10月17日（木）～11月17日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 ロビー
- ・ 展示名称：戸田かけはし高等特別支援学校1年×郷土博物館コラボ展示  
～ニュートンのこしかけ～
- ・ 開催期間：令和6年12月12日（木）～12月22日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 ロビー
- ・ 来場者数：222人

#### 【関連事業】

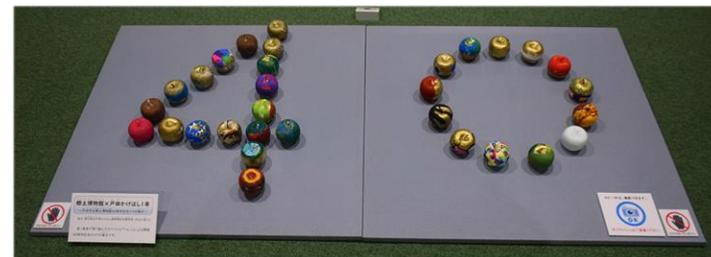
##### ○展示事前学習（出前授業）

日時：令和6年10月11日（金）12:30～14:30

会場：戸田かけはし高等特別支援学校 体育館

対象：戸田かけはし高等特別支援学校1年生

#### 展示と関連事業の様子



# 4 水辺環境エコツアー(彩湖周辺の自然観察とカヌー体験)

市長公約「水辺環境エコツアーの創設」の一環として、彩湖周辺で自然観察を行ったのち、カヌー体験を実施した。

## 彩湖周辺の自然観察とカヌー体験

### ・実施内容

第1回：令和6年5月25日（土）

第2回：令和6年10月5日（土）

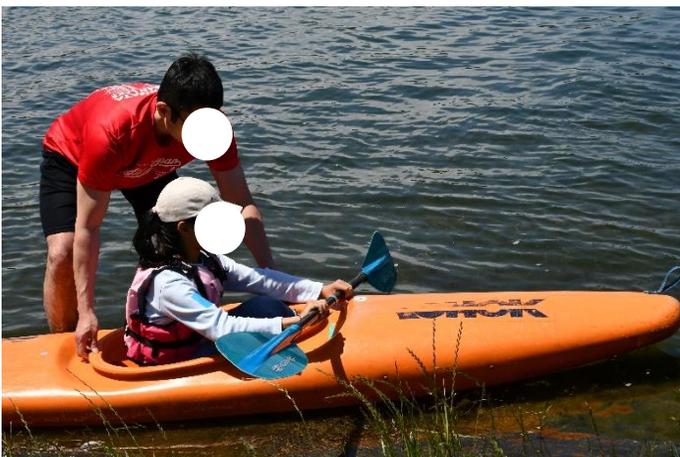
場所：彩湖湖畔

時間：10:00～12:00

参加人数 第1回 10名

第2回 8名

実施内容：彩湖周辺の植物の話を聞き彩湖付近を巡りながら観察した。その後、カヌーのパドルの取り回し、舟の乗り方の説明を陸地で実施後に乗舟し、護岸近くで漕ぎ方等の練習をしてから、対岸の植物の観察も見ながら、カヌーの乗船体験を行った。



## 5 市内公共施設との連携

彩湖自然学習センター（みどりパル）及び市役所本庁舎で例年実施している、彩湖の自然をテーマにしたパネル写真展について、更なる広報及び自然学習の機会の提供の為、笹目コミュニティセンター（コンパル）、戸田市新曽南多世代交流館（さくらパル）、上戸田地域交流センター（あいパル）で実施した。

### パネル展@コンパル

- ・実施時期：令和6年6月1日（土）～6月13日（木）
- ・実施時期：令和6年7月1日（月）～7月15日（月）
- ・場 所：笹目コミュニティセンター1階市民ギャラリー
- ・場 所：上戸田地域交流センター1階市民ギャラリー



### パネル展@あいパル



### パネル展@さくらパル

- ・実施時期：令和6年6月15日（土）～6月27日（木）
- ・場 所：戸田市新曽南多世代交流館1階市民ギャラリー



## 6 上戸田分館とのコラボ展示

彩湖自然学習センター（みどりパル）と上戸田分館双方で、両館の利用促進並びに更なる自然学習の機会の提供の為、「虫の出てくる本」をテーマに実際の昆虫標本とともに書籍の紹介を行うコラボ展示を実施した。

### コラボ展示@みどりパル

- ・実施時期：令和6年7月1日（月）～8月25日（日）
- ・場 所：彩湖自然学習センター 4階展示室



### コラボ展示@上戸田分館

- ・実施時期：令和6年7月1日（月）～7月28日（日）
- ・場 所：上戸田分館 展示ロビー  
(上戸田地域交流センター（あいパル）2階)



## 7 市内小学校3年生センター授業の実施

彩湖自然学習センター職員の支援のもと、実際に昆虫を観察したりすみかを調べたりします。  
※3年生理科「こん虫の育ち方」及び「動物のすみか」の両単元の学習効果をより高めます。

### センター授業実施風景

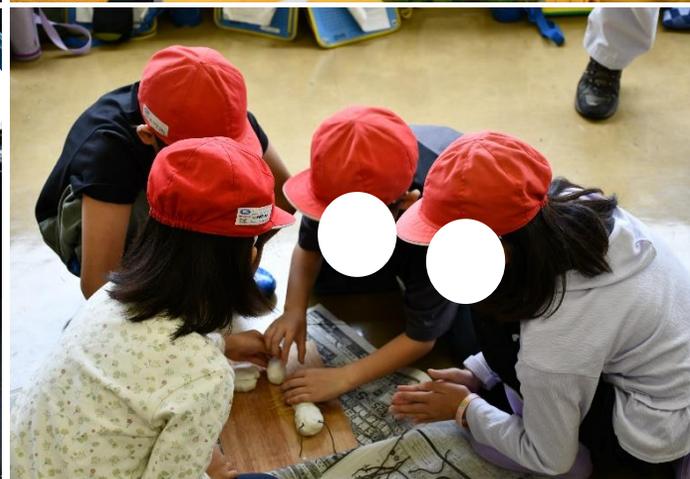
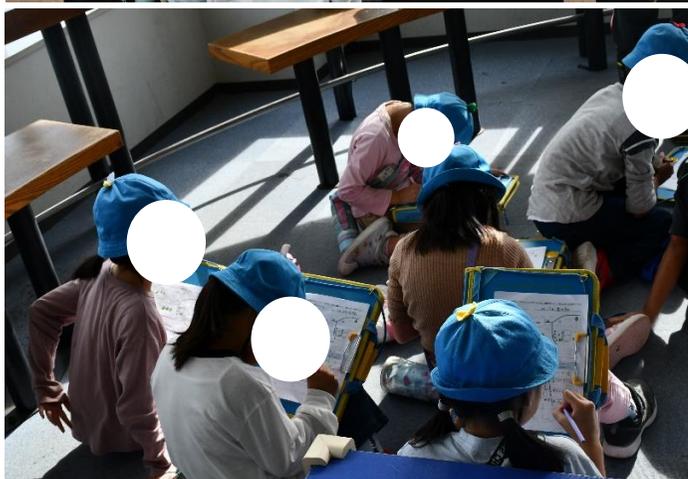
#### 【3年生センター授業実施内容】

令和6年度実績

実施時期：令和6年8月29日  
(木)～10月8日(火)

実施場所：彩湖自然学習センター  
及びその周辺

実施回数：12日間 21回  
(市内小学校全校) 44クラス  
児童数 1,326人



## 8 サイエンスサポートプログラムの充実

市長公約「自然体験活動等の充実と豊かな人間性や生きる力を育む教育の推進」における「サイエンスサポートプログラムの充実」に向けた取り組みとして、彩湖自然学習センター活用検討委員会を通じて学校と調整し、更なる充実を図っております。

### 出張授業事例 1 (小学校)

内容：いきものとなかよし

対象：小学校1年生



### 出張授業事例 2 (中学校)

内容：クラブ活動補助

対象：中学校科学部



上記出張授業のほか、学校からの要望に応じた教材提供も随時実施しております。

令和6年度実績 実施時期：令和6年6月28日（金）～ 令和6年9月18日（水）

実施回数：8回（出張授業3回 教材提供5回） 児童数711人（市内小中学校7校）

# 9 新曽中学校生物育成研究部との共同展示

市内中学校の生徒の研究発表の機会の提供及びみどりパルの利用促進を目的に、新曽中学校生物育成研究部が外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている「クビアカツヤカミキリ」について調査した結果のほか、「外来種とはなにか？」というテーマのもと、彩湖自然学習センターの昆虫標本との共同展示を実施しました。

期間：令和6年12月14日(土)

～令和7年1月26日(日)

場所：彩湖自然学習センター

4階展示室

展示内容：

新曽中学校生物育成研究部が同中学校の学区及びその周辺で特定外来生物に指定されている「クビアカツヤカミキリ」の生息調査結果を彩湖自然学習センターが所管している同昆虫の標本と一緒に展示のほか、アライグマほかその他の特定外来生物についての説明をイラストを交えわかりやすく紹介しているパネルとともに展示した。

## 外来害虫に関心持って

### 県内で被害確認 クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリは中国、朝鮮半島などに分布するカミキリムシの一種。成虫の体長は約40㎜程度で、前胸背が赤く、幼虫はクラ、モモ、モモ、ウメなどバラ科の樹を食へて成長すると、木が枯れてしまふなどの被害が報告されている。

戸田市内谷の彩湖自然学習センターで来年1月28日まで、市立新曽中学校生物育成研究部がまとめた、外来害虫「クビアカツヤカミキリ」についての同市内の状況報告が展示されている。調査によると、これまで調査区域内での被害は確認されておらず、同部は「生息域はすぐ近くまで来ており、広く関心を持ってほしい」と呼びかけている。(新井護)

### 戸田の新曽中 調査結果を展示

市町村で被害が確認されている。同部では毎年、調査を実施しており、今年も1、2年生31人の部員が9月から分かれ、新曽地区を7月から9月に、新曽地区を9月から11月に、それぞれ調査。公共施設、学校、ポトリス場などのサクラの木を確認した。

調査の一部で、幼虫のふんが木々が覆った「フラス」状のものが見られたが、クビアカツヤカミキリのものであるとは断定しきれなかった。調査結果をまとめた「クビアカツヤカミキリ」の調査結果をまとめたパネルを、展示室に展示している。同部は「調査結果を交えて、アライグマなどの特定外来生物についてもまとめて紹介している。」と話す。

新曽中2年で同部長の土間明日美さんは「被害はすぐ近まで来ている。日々の確認が大事で、皆関心を持ってほしい。後輩たちも活動を受け継いでほしい」と話した。

展示時間は午前10時から午後4時半。毎月第2、4、5月曜日、28日から月4日までは休館。

問い合わせは同センター(048・422・9991)へ。



### ●特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の調査結果発表

1月26日まで10時～16時半、戸田市内谷の彩湖自然学習センター(みどりパル)。新曽中学校生物育成研究部の調査結果のほか「外来種とはなにか？」をテーマにした昆虫標本の展示など。休館日は第2、4、5月曜日、年末年始。問い合わせは同センター(048・422・9991)。

毎日新聞 12月20日(金)

### クビアカツヤカミキリ 市内では？

#### 桜の木などに被害 戸田の中学生研究

戸田市内立新曽中学校の生徒らによる、桜の木などに被害を及ぼす「クビアカツヤカミキリ」についての研究が、市内の荒川河川敷の調整池・彩湖のほとりにある彩湖自然学習センターで展示されている。

クビアカツヤカミキリは中国やロシアなどに分布する大型のカミキリムシで近年、埼玉や群馬、栃木県などで確認されている。新曽中の生物育成研究部

#### 彩湖自然学習センターで展示

生徒らは毎年、市内の桜の木に被害を及ぼすクビアカツヤカミキリが、今年も1、2年生31人の部員が9月から分かれ、新曽地区を7月から9月に、新曽地区を9月から11月に、それぞれ調査。公共施設、学校、ポトリス場などのサクラの木を確認した。

調査の一部で、幼虫のふんが木々が覆った「フラス」状のものが見られたが、クビアカツヤカミキリのものであるとは断定しきれなかった。調査結果をまとめた「クビアカツヤカミキリ」の調査結果をまとめたパネルを、展示室に展示している。同部は「調査結果を交えて、アライグマなどの特定外来生物についてもまとめて紹介している。」と話す。

新曽中2年で同部長の土間明日美さんは「被害はすぐ近まで来ている。日々の確認が大事で、皆関心を持ってほしい。後輩たちも活動を受け継いでほしい」と話した。

展示時間は午前10時から午後4時半。毎月第2、4、5月曜日、28日から月4日までは休館。

問い合わせは同センター(048・422・9991)へ。

# 令和7年度の主な取組 (予定) について

- 1 ロビー展の開催
- 2 企画展の開催
- 3 水辺環境エコツアー（植物ウォッチング@  
彩湖自然保全ゾーン）
- 4 サイエンスサポートプログラム
- 5 水辺環境エコツアー（彩湖体験ツアー）

# 1 ロビー展の開催

5月5日のこどもの日に合わせ、子どもの健やかな成長を願って行なわれてきた年中行事「端午の節句」について、寄贈資料をもとに紹介する。

女兒の幸福や健やかな成長を祈って行われている3月3日の「桃の節句（雛祭り）」について、寄贈資料の雛人形や雛道具を展示し、行事の由来や歴史を紹介する。

- ・ 展示名称：ロビー展「端午の節句展」（仮称）
- ・ 開催期間：令和7年4月20日（日）～5月6日（火）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 ロビー

- ・ 展示名称：ロビー展「桃の節句展」（仮称）
- ・ 開催期間：令和8年2月21日（土）～3月8日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 1階 ロビー



## 2 企画展の開催

令和7年は、第二次世界大戦終結後80年目にあたる。日本は、明治時代から昭和時代にかけて中国、ロシア、アメリカを相手に戦争をした過去があるが、戦後80年が経過しようとする今、戦争体験者は少なくなっている。日本が戦争をした事実は、教科書や終戦記念日等で見聞きする遠い過去の出来事になりつつある。そこで、戦後80年の節目に合わせて、博物館で収蔵する戦争関係資料から、日本がどの戦争に関わっていたのか、徴兵された兵士や戸田の人々が戦時中どのような生活を送ったのか見ていくことで、戦争について考える。



- ・ 展示名称：企画展「戸田と戦争～兵士と銃後の人々の暮らし～」（仮称）
- ・ 開催期間：令和7年8月2日（土）～10月5日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 特別展示室
- ・ 展示構成：第1章 入隊・出征  
第2章 従軍・除隊・帰還～戦地における兵士の生活～  
第3章 銃後の人々の生活



### 3 水辺環境エコツアー（植物ウォッチング@彩湖自然 保全ゾーン）

市長公約「水辺環境エコツアーの創設」の一環として、彩湖で普段入場できない彩湖湖畔の自然保全ゾーンで植物ウォッチングを実施予定。

#### 植物ウォッチング（イメージ）

・実施時期（予定）

令和7年10月下旬

場所：彩湖自然保全ゾーン

時間：未定

参加人数・内容等：未定



## 4 サイエンスサポートプログラム

市長公約「サイエンスサポートプログラムの充実」に向けた取り組みとして、彩湖活用検討委員会を通じて学校と調整し、更なるプログラムの充実を図る。

### 出張授業事例 1 (小6)



内容：レプリカ作り  
対象：小学校6年生

### 出張授業事例 2 (中学校)



内容：季節の昆虫  
対象：生物育成研究部

- ・実施時期及び内容：市内小中学校と調整 時間：未定 参加人数・内容等：未定  
上記出張授業のほか、学校からの要望に応じた教材提供も随時実施予定

# 5 水辺環境エコツアー（彩湖体験ツアー@彩湖周辺）

市長公約「水辺環境エコツアーの創設」の一環として、彩湖で普段入場できない場所で彩湖について学ぶとともに野鳥ウォッチングを実施予定。

## 彩湖体験ツアー（イメージ）

・実施時期（予定）

令和8年3月上旬

場所：彩湖周辺

時間：未定

参加人数：未定

内容：国土交通省の出前講座を利用した施設での見学ツアーと、彩湖自然学習センターで実施している野鳥観察を実施する。

